

いわきへの想いを共有し
「人づくり日本一」の実現へ



令和6年1月5日

いわき市長 内田 広之

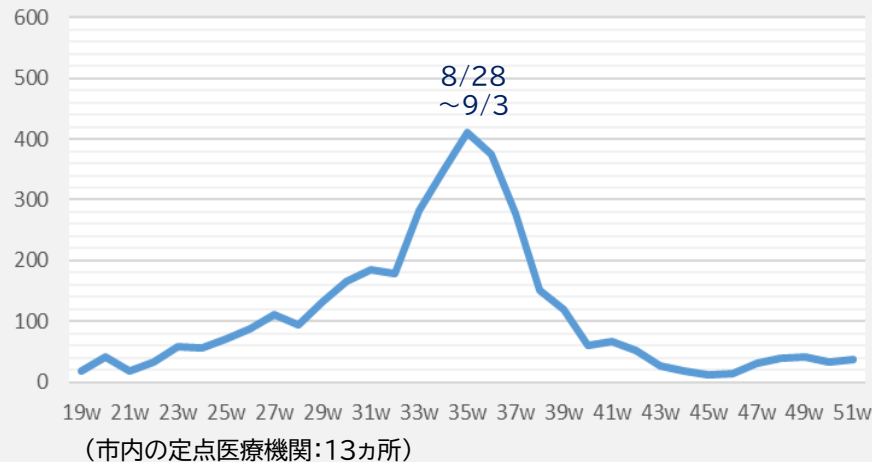
喫緊の課題への対応

POINT

01

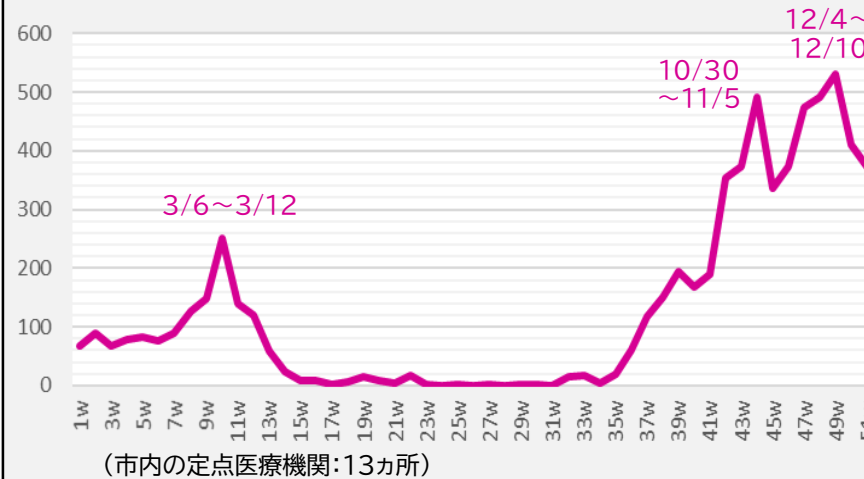
新型コロナウイルス関係

新型コロナウイルス
定点医療機関報告数



※5/8以降の定点報告のグラフ

インフルエンザ
定点医療機関報告数



※1/2以降の定点報告のグラフ

新型コロナウイルス
定点医療機関報告数

3,600人超

※5/8以降の定点報告の数値

インフルエンザ
定点医療機関報告数

6,600人超

※1/2以降の定点報告の数値

※2023/12/25現在

- 適切な情報発信、医療機関の負担軽減を図るためHELPO※による相談体制を構築
※HELPO相談受付件数**6,846**件(2023年11月末日現在)
- 病床確保や医療機関による外来診療などの医療体制の強化
- 新型コロナワクチン接種希望者への接種体制を構築

喫緊の課題への対応

POINT

02

台風第13号関係

人的被害

死者 **1** 名 / 負傷者 **5** 名

住家被害

り災棟数 **1,795** 棟

※うち、床上浸水885棟、床下浸水806棟

令和5年11月30日現在



➤ 被災者への支援

- ➡ ボランティアセンター設置、災害廃棄物搬送体制、り災証明書受付体制(以上、発災3日後)、
現地支援センター設置(発災5日後)、その後、住まい確保支援、応急修理、解体支援 など

➤ 東北大学災害科学国際研究所との連携(被災メカニズム等の調査・分析、洪水氾濫対策の検討)

➤ 国・県等への緊急要望

参考

内郷地区における喫緊の雨水対策

- 二級河川整備については、県と協議しながら**今後整備方針を検討**。
- 当面、**排水路整備**(金坂第二排水路)と**市所管河川改良**(金坂川)を実施。
- **雨水貯留施設**を公共用地(公園や道路)の地下に整備。(綴町、御厩町)
- 県所管の二級河川(新川・宮川)は、**年度末までに**台風第13号の堆積土砂を撤去。
- 現在、県が進めている台風第13号に伴う大雨による氾濫要因の分析の結果や、年度末までに報告をまとめる**東北大学災害科学国際研究所の分析なども踏まえて、新川・宮川の洪水氾濫対策について協議を進めるとともに、県等と連携を図りながらハード整備を検討**。

「人づくり日本一」の実現を目指して

～ 今後 5 年間の数値目標と今年の取組みの方向性～

01 次世代を育てる

～ひと：地域人財の育成～



教育

子育て

地域づくり

02 命・暮らしを守る

～安全安心の充実強化～



防災

医療

福祉/健康/地域共生社会

03 まちの魅力を高める

～まち：地域価値の向上～



まち（市街地・中山間）

DX/GX

地域交通

04 豊かさを創る

～しごと：地域産業の振興～



産業

農林水産

観光・文化・スポーツ

令和6年度の市政運営の方向性

※ 各政策においての現状値と目標（5年後）を新たに明示

▶ 毎年度、点検・検証し、PDCAを進める

支える改革 五本の矢

01



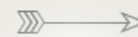
行かない！
書かない！
待たない！
市役所

02



しごとを徹底的に
効率化

03



サービス・インフラの
最適化
に挑戦

04



成果重視
と見える化を実現

05



職員づくり
も日本一

市民・来庁者の
利便性を向上
します

生産性を向上し、
市民の満足感
を高めます

ちょうどいい
施設とインフラを
目指します

行財政マネジメントの
仕組みを強化
します

職員の意欲と
やりがいを
最大化します



防災

POINT

01

地形的な要因により繰り返される水害に対し、**メカニズム解析を進め、洪水氾濫対策なども検討し、河川改良などの対策**に取り組む。

POINT

02

自主防災組織に防災士が2名以上所属できるよう、地域との連携を強化し、**共助力のさらなる向上**に取り組む。

POINT

03

東北大学災害科学国際研究所と連携し、**EV・FCEV車などを活用し、避難所機能を維持するための電力確保に係るモデル的な取り組み**を実施。

数値目標

現状値

毎年進捗管理

登録防災士数

258人

2名以上防災士が所属している

自主防災組織

64 組織

※R5年度自主防災組織数403

自主的に年1回以上訓練する

自主防災組織

57 %

600人

403 組織

※100%

100 %

5年後の目標

(可能なものは前倒し)

これまでの主な取り組み

- ▶ 本市防災士約**1,000名**(東北の中核市最大)
- ▶ **登録防災士制度**を創設
- ※防災士のうち地域防災力向上のため活躍する人財を登録



医療

POINT
01

将来の医療人財を育成するため、**小学生から研修医まで切れ目なく、「医療を学ぶ」「医療を育てる」ための取り組み**を展開。

POINT
02

いわき市医療センターをはじめとする市内の病院における**診療科ごとの医療充実の戦略**を練る。

POINT
03

手術支援ロボット「ダビンチ」やドクターカーの運用など、**新たな技術や仕組みを積極的に活用**。

POINT
04

いわき駅周辺などの**まちづくりと連動した医療体制の充実**を図る。

数値目標

現状値
毎年進捗管理

人口10万人あたりの
病院勤務医師数

98.5 人

※R2年調べ。県平均140.4人

120 人

10年で県
平均を目指す

医師の平均年齢

56.1 歳

※R2年調べ。県平均52.6歳

54 歳

10年で県
平均を目指す

市内高校からの医学部医学科
進学者数

7 人

20 人

5年後の目標

(可能なものは前倒し)

これまでの主な取り組み

- ▶ 手術支援ロボット「**ダビンチ**」の導入。
施術実績**41件**(11月30日現在)
- ▶ **ドクターカー**を令和4年10月から運用開始
- ▶ **救命救急センター、脳神経外科、循環器内科、眼科、小児科、麻酔科**などに新規に**医師着任**
- ▶ **救急搬送時間**の福島市、郡山地方の平均との差**2分程度短縮**(H30・R3比較)



手術支援ロボット「ダビンチ」



ドクターカー



教育

POINT

01

学力向上チームの全校訪問に加え、**全国学力・学習状況調査等の結果を分析して、学力向上策**を推進。また、**分析対象や教職員向けのワークショップを拡大するなど、さらなる取組み**を強化。

POINT

02

児童生徒1人1台端末を活用した**ICT教育のさらなる取組み**を実施（PC持ち帰りで家庭学習の充実・強化など）。

POINT

03

全ての児童生徒が教育を受ける機会を確保できるよう、**不登校の児童生徒への支援体制(多様な学びの場)を構築する**ほか、**支援を要する児童生徒に対する支援や相談体制などの充実・強化**を図る。

※多様な学びの場を今後3年間で8ヵ所整備（※チャレンジホームの改善充実分を含む）

POINT

04

部活動の地域移行に向けて、**地域のスポーツ団体等と連携したモデル的な取組み**を実施。

数値目標

現状値

毎年進捗管理



5年後の目標

（可能なものは前倒し）

本市の学力
全国平均以下

まずは

全国平均以上、日本一へ

※R5全国学力・学習調査において、小学校は算数が全国平均以下。中学校は国語、数学、英語が全国平均以下。

自己有用感
全国平均以下

全国平均以上

※「自分にはよいところがある」「人から認められた」などの自己に対する肯定的な評価。

これまでの主な取組み

- ▶ **学力向上チーム**の設置
- ▶ **学校カルテ**をもとに、**学力向上アドバイザー**が全学校を訪問
- ▶ 各学校の実態や特徴に応じた伴走支援





子育て

POINT

01

子育て・母子保健コンサルジュや子育て情報の発信強化などにより、**安心して妊娠・出産・子育てできる環境をつくる。**

POINT

02

放課後児童クラブの拡充や保育人財の確保に努め、**就労と子育ての両立に向けた取り組み**を実施。

POINT

03

ヤングケアラーへの支援、子ども食堂の運営支援など、**困難を抱える子ども・家庭支援**に取り組む。

POINT

04

職場環境においてICTツールの活用を検討するなど、**保育士の働き方改革を進め、保育の質を向上。**

数値目標

現状値

毎年進捗管理



5年後の目標

(可能なものは前倒し)

保育士有効求人倍率

4.1 倍

全国平均(R5全国平均:3.12倍)

待機児童数

2 人

ゼロ

これまでの主な取り組み

- ▶ 出産育児一時金を**50万円**に拡充
- ▶ 出産・子育て応援金(**10万円**)を創設
- ▶ 部活動の**全国大会・東北大会出場**の支援拡充
- ▶ 学校給食**第3子以降無償化**
- ▶ **インフルエンザ予防接種助成**開始(2千円×2回)





DX / GX / 地域交通

POINT

01

行政DXの一環として、**行政MaaS車両を活用したおでかけ市役所**（住民票、税証明、マイナンバーカード受付等の実施）、ヘルスケアMaaS（健康相談等）に継続して取り組み、**市民生活の利便性の向上**を図る。（※情報弱者のデジタルディバイド対策にも取り組む）

POINT

02

行政・市民・事業者・関係団体の主体的な取り組みに加え、**脱炭素化・環境保全に関する意識醸成、中小企業の脱炭素化支援を実施**し、**2050年に市内全体からの温室効果ガス排出量の実質ゼロ**を目指す。

POINT

03

地域交通は地区ごとに**令和6～7年度に実証実験をし、令和8年度までに実装化**。（例）定額タクシー、デマンド交通、自家用有償旅客運送、ボランティア輸送

数値目標

現状値
毎年進捗管理

行政手続きの
オンライン化率

70 %

実質 100 %

※年間申請件数1,000件未満の手続きやオンライン化できないもの等を除く

温室効果ガス
削減割合

327.8 万t-Co2

※2013年度排出量

50 %削減

※2013年度に対する2030年度目標

カーボンニュートラル
賛同団体
(企業・学校・各種団体)

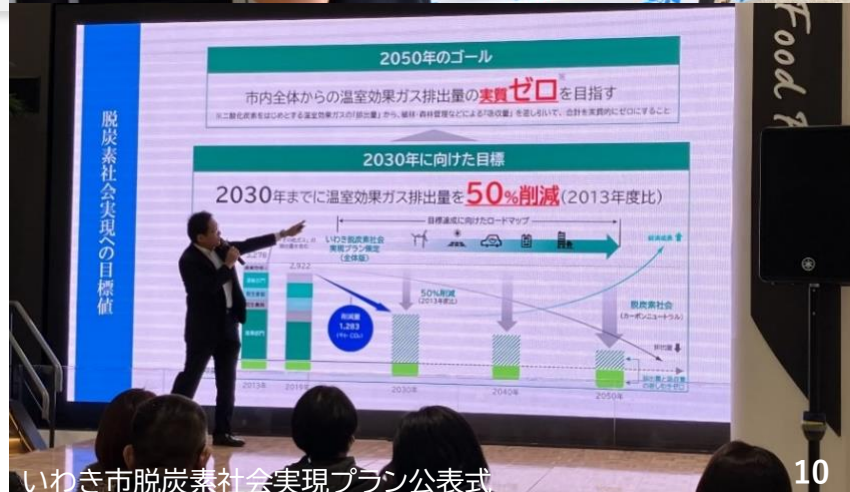
149 団体

1,400 団体

これまでの主な取り組み

- ▶ **おでかけ市役所車両**（全国初）
- ▶ 地域における**キャッシュレス決済**の利用促進
- ▶ **庁内ペーパーレス化**（**電子決裁率** R3:6.4%→R5:**概ね100%**）
- ▶ 官民連携による**カーボンニュートラル宣言**

おでかけ市役所





産業

POINT

01

企業のチャレンジを後押しし、**地域に根差した企業の生産性の向上や付加価値を高め、稼ぐ力の向上**を図る。

POINT

02

産業人財の確保に向け、「デジタル」、「脱炭素」、「経営者育成」をテーマとした官民連携による**新たな産業人財育成の取組み**を推進。

POINT

03

コーディネーター等の活用により、市内企業と福島国際研究教育機構(F-REI)との連携を促進し、市内企業が関わることのできる研究や技術などの提案を支援。

数値目標

現状値

毎年進捗管理

市内創業者数

91人

※H30～R4の5年間計

経営革新にチャレンジする

企業数

56件

140人

※R6～R10の5年間計

130件/年

5年後の目標

(可能なものは前倒し)

これまでの主な取組み

- ▶ 内郷支所に**福島国際研究教育機構(F-REI)いわき出張所開設**
3年間で市内企業によるF-REIへの研究や技術などの**提案数5件**を目指す





農林水産業

POINT

01

水産業では、首都圏における「常磐もの」のプロモーションなどを通して、ALPS処理水放出による風評対策などに引き続き取り組むとともに「**常磐もの**」のブランドを強化。

POINT

02

農業では、**福島大学食農学類との連携**により、これまでのフィールドワークを踏まえた**実証事業を実施**。

POINT

03

林業では、スマート林業導入支援、新規就業者支援、林業機械等導入支援などの**担い手支援**に幅広く取り組む。

数値目標

現状値

毎年進捗管理

新規就農者数

8.66 人

※H26～R4の実績平均値

林業就業者数

276 人

首都圏の
「常磐もの」愛好層

33 %

※アガート対象者における愛好層の割合

10 人/年

291 人
年間3人増、
5年間で15人増

80 %

5年後の目標

(可能なものは前倒し)

これまでの主な取り組み

- ▶ トマトやねぎなどの**産地形成支援**(冬春トマトが**野菜指定産地**に)
- ▶ 農産物の**ブランド化、6次化、販路拡大**の支援の充実
- ▶ **水産業共同利用施設**(荷捌き加工施設等)の整備を支援



福島大学フィールドワーク



観光・文化・スポーツ

POINT

01

震災や原発事故、さらにはコロナにより減少した観光入込客数の回復に取り組むとともに、**インバウンド誘客にも積極的に取り組む。**

POINT

02

本市のシンボルである**フラ文化やいわきFCの活躍**を地域の活力に活かし、**経済の好循環や観光振興につなげる。**

POINT

03

全国高等学校総合体育大会サッカー競技男子の浜通りでの開催(令和6、7年度)や、ラグビー、バレーボールなどの**トップリーグの大会開催**を通じ、本市の**経済活性化とスポーツによるまちづくりを推進。**

数値目標

現状値

毎年進捗管理

観光入込客数

546 万人/年

※R4年調べ

文化施設の
年間入館者数

50 万人/年

※R4年調べ

トップスポーツイベント
誘客数

76,790 人/年

850 万人/年

100 万人/年

10 万人/年

5年後の目標

(可能なものは前倒し)

これまでの主な取り組み

- ▶ いわきFC、J2リーグ堅守。シーズン中のホーム**集客数7.3万人**で、県内最大のスポーツコンテンツに
- ▶ 文化・スポーツ施設への**ネーミングライツの導入**



©IWAKIFC



構造改革

POINT

01

ニーズの高い**行政サービスをLINEに集約**。手続きをスマホで完結することで、**利便性を向上**。

POINT

02

市民と対話を重ねながら、「**ちょうどいい・最適な水準**」の**公共施設等を目指す**(約1,300ある施設の最適化)。

POINT

03

組織体制の強化・充実を図りながら、これら改革・改善の動きを力強く推進。

POINT

04

職員の意欲とやりがいを最大化し、**選ばれる市役所**を実現。

数値目標

現状値

毎年進捗管理



5年後の目標

(可能なものは前倒し)

スマート申請率

市民課窓口で

11.6 %

全窓口で

50 %

これまでの主な取り組み

- ▶ **構造改革推進本部**の設置
- ▶ **集中改革期間**を設け、改革・改善を力強く推進中



前進

今後も、**現場主義に徹し、変革を一つひとつ積み重ね**、市民の皆様に変化を実感いただけるようなまちづくりを進めます。

また、若者から高齢者まで、あらゆる世代がいわきに魅力を感じ、いわきを誇りに思うまちを**「人づくり」で実現**します。

どんな逆境をも乗り越えるべく、全力を傾注し、市政運営に邁進していきます。

皆様のなお一層のご支援とご協力をお願いし、また、本年が皆様にとって、**希望に満ちた未来へ立ち昇る飛躍の年**となることを祈念いたします。